

福井市公衆無線LAN推進委員会が「ICT福井市中心市街地元気プロジェクト」を提言



第2回推進委員会の討議の様相

- 7月3日(火)、福井市役所において、第2回福井市公衆無線LAN推進委員会(座長 堀俊和福井大学教授)が開催され、福井ケーブルテレビ株式会社が福井駅前において6月22日から28日に実施したWiFi実証実験の概要(実験は8月末まで継続)が報告された後、「ICT福井市中心市街地元気プロジェクト」が提言されました。

今後、推進委員会の提言を受け、福井市では9月中旬までに実施方針を決定し、本年10月以降2年間にわたってWiFi環境の整備・拡張(ハード事業)及び情報ポータルサイトの整備・充実(ソフト事業)を進める予定となっています。

また、今後、推進委員会は、プロジェクトの推進状況を見ながら、必要に応じて開催されることとなりました。

- 「ICT福井市中心市街地元気プロジェクト」においては、ケーブルテレビ事業者(福井ケーブルテレビ株式会社)が、中心市街地に、誰でも、どこでも、いつでも、無料で利用できるメッシュWiFiを整備するとともに、それらをプラットフォームにして地域に賑わいと元気を創出し「まちづくり」を推進するため、観光客、買物客、ビジネスマンなど、あらゆる層にとって利用しやすく、魅力あるコンテンツやサービスを提供するポータルサイトを、福井市やまちづくり福井株式会社などの関係者が構築することとしています。

【活用イメージ(別添1参照)】

1 まちの情報を手元で受発信

メッシュWiFiを使ってお店の情報を入手するとともに、GPSも利用して、現在位置からお店までの案内や、車での来街時には、近くの駐車場への誘導を途切れることなく実現し、街での回遊性を高めます。

2 WiFi無線網と電子マネー機能付きICカードを使ったエリアサービス

各店舗のFerica内蔵モバイルPOS端末と電子マネー機能内蔵ICカードのセンターサーバーをWiFi網で接続することにより、各店舗が実施する共同販促(ポイント10倍セール等)や屋外イベントでのモバイルPOS端末による決済を可能とし、エリアが一体となったポイントサービスが実現します。

3 時代を旅する福井ラビリンス

AR(拡張現実)技術を使って、現在の風景を携帯端末で撮影する感覚で、江戸・明治・大正・昭和の風景イメージを再現することにより、歴史をよみがえらせます。



ポータルサイトのイメージ図

【福井駅前において実施されたWiFi実証実験の概要(別添2参照)】



アクセスポイント



モデム収納ボックス

1 実施主体及び実施期間

福井ケーブルテレビ株式会社が6月22日(金)～6月28日(木)に実施

2 実施場所及びアクセスポイント数

福井駅前アーケード(バス乗り場、私鉄停車場)の6カ所

3 実証実験の概要

- 福井ケーブルテレビ株式会社のホームページ上のみの実験周知であったにもかかわらず、1日当り最大で約1,800のアクセス、累計で約7,800のアクセスがあった。
このうち、ケーブルテレビ非加入者のアクセス数(無認証)は6,400アクセスで、ケーブルテレビ加入者のアクセス数(1,400アクセス)の5倍弱に上った。また、使用者数は累計約850人で、1日平均100人程度のアクセスがあった。
- アクセスポイントのカバーエリアは見通し圏内では100～150m、見通し圏外では50～60mであった。
- WiFi接続時にポータル画面へ誘導することとしていたが、無認証の接続の場合、ポータル画面に誘導されなかったことから、引き続き検討を行う。
- スマートフォンのOSによっては、一部の端末で、アクセスポイント間をハンドオーバーしない端末があった。

4 今後の予定

- 上記3の結果を踏まえ、引き続き8月末まで実証実験を行い、実用サービスに向けた課題の解決に取り組む。

お問い合わせ先 : 福井市都市戦略部情報課 0776-20-5671
: 北陸総合通信局 無線通信部 陸上課 076-233-4480